

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 急性胆嚢炎に対して経皮経肝胆嚢ドレナージ術（PTGBD）を施行した患者の胆汁細胞診による偶発的胆嚢癌診断能に関する検討

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月から2021年3月までに昭和大学病院旗の台病院消化器内科を受診し、急性胆嚢炎と診断した症例を対象とします。

#### 2. 研究目的・方法

胆嚢癌は診断が難しい疾患の一つであり、発見が遅れると腫瘍が進行することがあります。急性胆嚢炎の原因として胆石症が最も多いですが、数%に腫瘍による胆道閉塞で起こることが知られています。急性胆嚢炎の治療として腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行しますが、術後に胆嚢癌と診断されることが約1%あることも報告されています。術前に胆嚢癌を診断することは我々医療者の喫緊の課題であると考えます。そこで我々は、急性胆嚢炎に対して経皮経肝胆嚢ドレナージ術を施行した患者の胆汁細胞診が偶発的胆嚢癌の診断に有用であるかを研究します。

急性胆嚢炎の診断で当科を入院した患者の臨床的特徴や採血、胆汁細胞診の結果から、術前に胆嚢癌を診断することが可能か後方視的に比較研究します。

#### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、研究機関の長の実施許可を得てから2022年1月31日まで

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

2018年1月1日から2021年3月31日までに当院消化器内科において急性胆嚢炎の診断にて入院した患者さんを対象にデータを使用いたします。

患者背景（年齢、性別、診断病名）および臨床検査項目（血液、生化学、CT、MRI、病理結果による胆嚢癌の有無；胆汁細胞診）を調査項目とします。

#### 4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院消化器内科 氏名：居軒和也、宇佐美智乃

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8535

研究責任者：昭和大学病院 内科学講座 消化器内科学部門 居軒和也